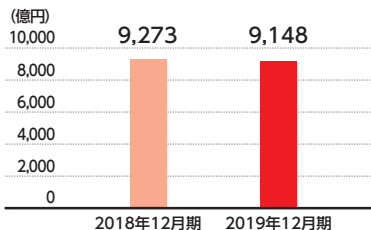


売上収益

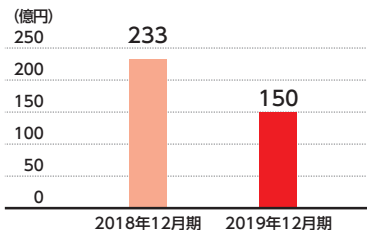
9,148 億円



4月に実施した大型PETボトル製品の納価改定の効果やアルコール飲料「檸檬堂」の貢献があったものの、販売数量減少により、売上収益は前期比で125億円減少し、9,148億円となりました。

事業利益※

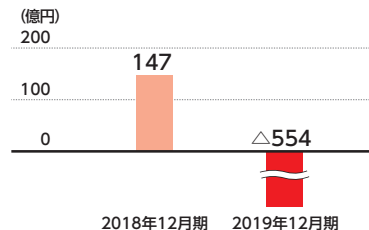
150 億円



希望退職プログラム実施や退職給付制度統合に伴う人件費の減少、徹底したコスト削減の取り組みの効果等があったものの、売上収益の減少に加え、製造効率低下や物流費の増加、ヘルスケア・スキンケア事業の利益減少等により、事業利益は前期比で82億円減少し、150億円となりました。

営業利益

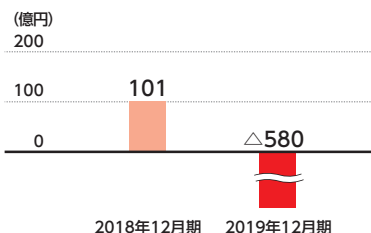
△554 億円



事業利益の減少に加え、第2四半期に計上したのれんの減損損失や希望退職プログラム実施に伴う特別退職加算金の計上等により、営業利益は前期比で701億円減少し、554億円の損失となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

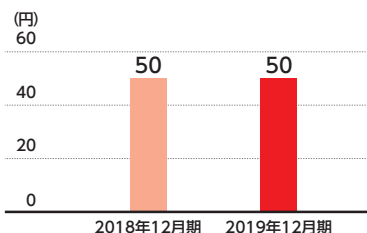
△580 億円



営業利益の減少に伴い、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比で681億円減少し、580億円の損失となりました。

1株当たり配当金

50 円



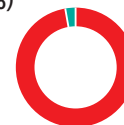
2019年の期末配当金を1株当たり25円とし、年間配当金は前期と同額の50円としています。2020年についても、1株当たり50円の配当を維持する見込みです。

セグメント情報

〈売上収益〉

飲料事業 8,900 億円 (97.3%)

ヘルスケア・スキンケア事業 248 億円 (2.7%)



〈事業利益〉

飲料事業 114 億円 (76.1%)

ヘルスケア・スキンケア事業 36 億円 (23.9%)



※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。